



2013年9月15日の台風18号被害  
宝塚新橋下流の被害状況  
低水護岸が崩れ高水敷表土流出した。  
百軒樋取水口付近の地盤沈下した感じ。

正確な台風18号ピーク水位

- 武田尾 16日 06:00 5.61
- **甲武橋 16日 06:00 3.03**
- 阪神橋梁 16日 04:00 4.06

甲武橋基準

- 水防団待機水位 2.20m
- **はん濫注意水位 3.20m**
- 避難判断水位 3.80m
- はん濫危険水位 4.50m

はん濫注意水位に迫る洪水だった。



写真上は18号台風洪水到達高さを示す。

宝塚新橋下流の復旧工事の様子  
崩れた低水護岸を撤去した後、元の仕様通りに復旧された。



宝塚新橋下流の復旧工事終了直後の様子  
低水護岸が元通りになり、百軒樋取水口付近の高水敷面保護石張りも元に戻された。流出表土も客土され元通りになる。





2015.03.20

2014年8月10日11号台風被害

宝塚新橋下流の被害状況

低水護岸全体が復旧直後より低くなり接続部が損壊。

**台風11号ピーク水位**

- ・ 武田尾 14:00 3.32
- ・ 甲武橋 14:00 2.14
- ・ 阪神橋梁 15:00 2.75

**甲武橋基準**

- ・ 水防団待機水位 2.20m
- ・ はん濫注意水位 3.20m
- ・ 避難判断水位 3.80m
- ・ はん濫危険水位 4.50m

18号台風より小規模洪水で被害発生



2015.05.20

宝塚新橋下流の復旧工事の様子

11号台風被害復旧工事より軽微な工法が採用され、壊れた上流側接続部と百軒樋取水口付近の補修が行われ比較的被害の少なかった部分の補修工事は行われなかった。



2015.05.11

宝塚新橋下流の復旧工事終了直後の様子  
池状になっていた高水敷も埋め戻され元の姿に戻ったが、百軒樋取水口付近の高水敷は階段状の低水護岸は上から一段目まで水没、11号台風復旧工事後は上から1段目の階段は水面上にあったことから考えれば約20cm地盤沈下したように感じられる。新橋直下の石張り高水敷との接続部も下流側に向かって下向き傾斜がある。11号台風被害復旧工事より軽微な工法が取られたことが分かる。

18号規模洪水に耐えられるのか心配、これからの台風や局地的豪雨を注目していく必要が有る。